

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイコン 景況調査



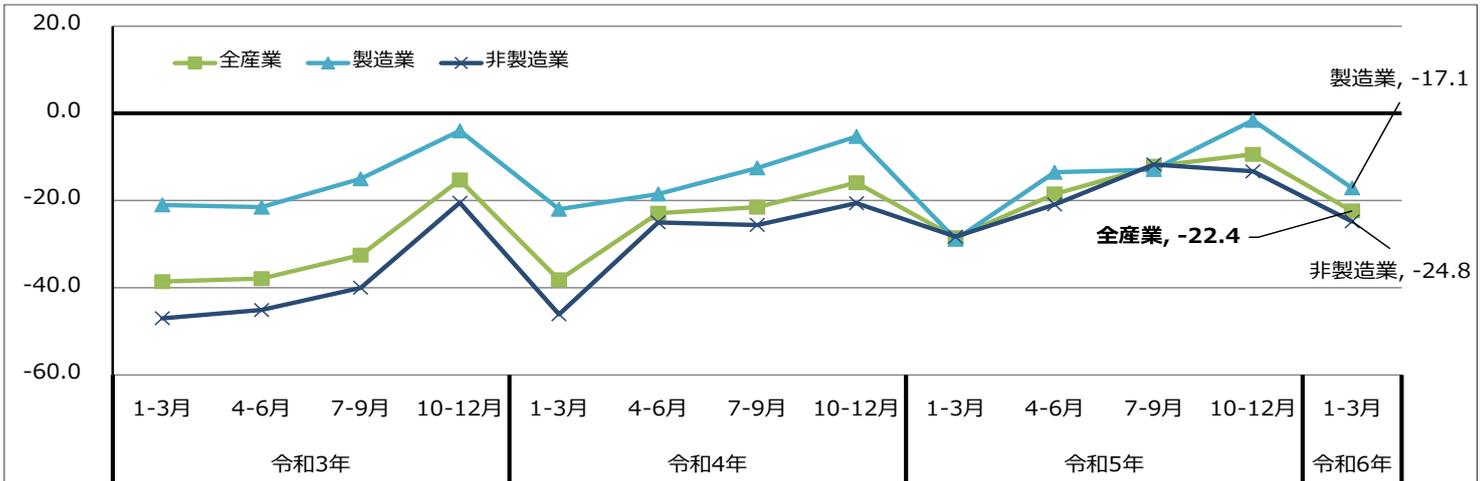
業況判断 DI は全産業で悪化。 製造業、非製造業のいずれも悪化。

- ◆ **売上**：全産業、非製造業で悪化
 - ◆ **前期比収益**：全産業、製造業、非製造業のいずれも悪化
 - ◆ **従業員の過不足**：全産業、製造業、非製造業で不足感が低下
- ・・・製造業は大幅に悪化。
 - ・・・電気機械では改善。
 - ・・・すべての産業で不足。

◆ **業況判断（前期比）** 注（ ）内は前回調査との差を示します。

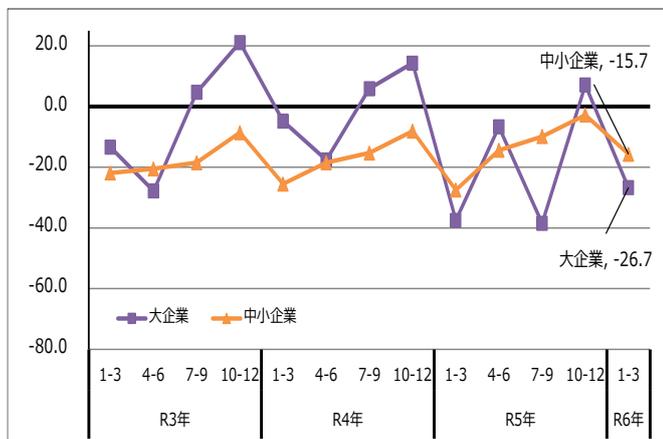
<全体>

業況判断 DI は、▲22.4（-13.0）で悪化しました。業種別では、【製造業】は▲17.1（-15.5）で悪化、非製造業は▲24.8（-11.5）で悪化しました。



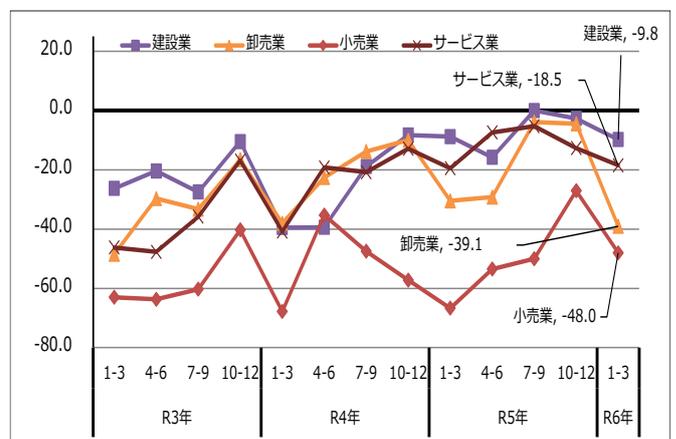
<製造業（規模別）>

【大企業】は▲26.7（-33.8）で大幅に悪化、【中小企業】は▲15.7（-12.9）で悪化しました。



<非製造業（業種別）>

建設業は▲9.8（-7.1）、サービス業は▲18.5（-5.8）で、悪化しました。卸売業は▲39.1（-34.6）、小売業は▲48.0（-20.9）で、大幅に悪化しました。



DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です。

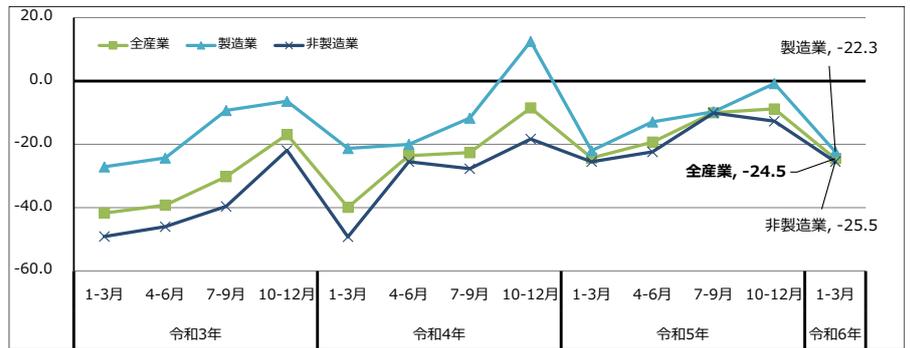
◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

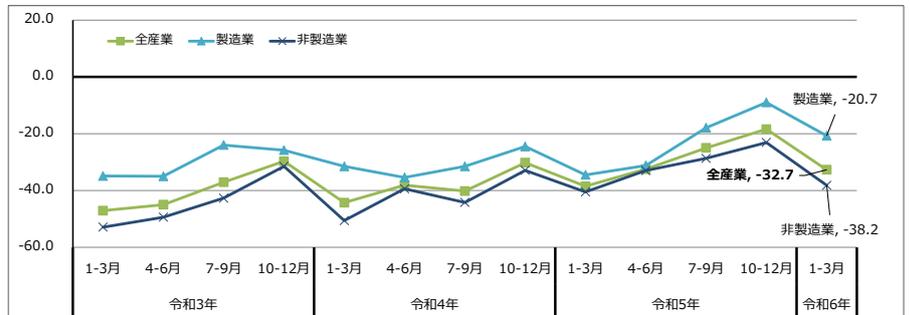
◆出荷額・売上高・完成工事高

- 出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲24.5 (-15.7) で、悪化しました。
- 【製造業】は▲22.3 (-21.5) で大幅に悪化、【非製造業】では▲25.5 (-12.8) で悪化しました。



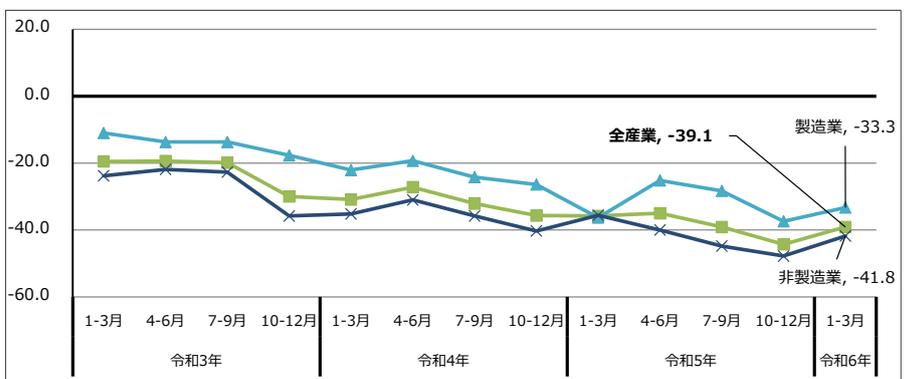
◆収益 (前期比)

- 収益 (前期比) DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。全産業で▲32.7 (-14.3) で悪化しました。
- 【製造業】では、▲20.7 (-11.7)、【非製造業】では、▲38.2 (-15.1) でいずれも悪化しました。



◆従業員過不足

- 従業員過不足 DI は、▲39.1 (+5.2) で不足感が低下しました。
- 【製造業】では、▲33.3 (+4.1)、【非製造業】では、▲41.8 (+6.0) とマイナス幅が縮小し、不足感が低下しています。



<本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局 経済観光振興課

担当: 大谷

連絡先: 06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当: 藤野・重本

連絡先: 06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>